
本当の事は・・・

魅由羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本当の事は・・・

【コード】

N0481Q

【作者名】

魅由羅

【あらすじ】

執事がお嬢様に隠している事とは・・・

「お嬢様、汰我です」

「入って良いわよ」

「今のは、私の執事の汰我 私の幼い頃から仕えていると言っけれど、

私はあまり覚えていないの」

今、汰我は、18歳で私は12歳なの

だから、汰我は6歳の頃から私に仕えているということなの

でも、6歳からじゃムリだと思ったから本当のことを聞いてみたら、

「気になさらないでください」

っていわれたの

次の日朝起きた私は、大広間に行こうとしたら、

誰かの声があったの、良く聞いてみたら

執事長の要次が、汰我に言っていたの

「そろそろ、お嬢様に本当の事を話したらどうだ？」

って言ってたの

私は、気になって思い切って部屋に入ったの

そしたら汰我が驚いた顔した瞬間に、悲しそうな顔に、変わったの

私は、

「本当の事って何？」

って聞いたたら汰我は口を開いてこう言ったの

私は、この言葉に息が詰まったわ

「僕とお嬢様は、兄妹なんですよ」

って

私は、意味が分からなくてその場から逃げ出した

その後にまた聞き直したけど、返ってくる答えはさっきと同じ・・・

私は、汰我が、何故私の執事になったのか聞いてみたら、

「お嬢様のことを、守りたかったからですよ」

って言われた

少し、恥ずかしかったけど、すごく嬉しかった！

私は、笑顔で汰我に、

「お兄ちゃん！」

って言ったら照れくさそうに

笑ってた

私は、これからも汰我のいや、

お兄ちゃんのを笑顔を見ていたいと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0481q/>

本当の事は・・・

2011年1月12日21時55分発行